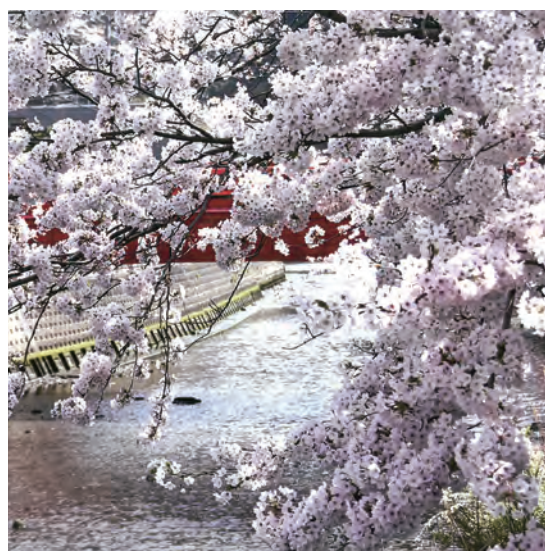


chapter 01

第1部

60周年記念事業





# 逗子市市制 60 周年記念事業一覧

2014 年（平成 26 年）4 月～2015 年（平成 27 年）3 月

月	事業名	開催日	場所	問合せ先
4 月	●逗子のむかしむかしおはなし会	4/5・4/17	図書館	図書館
	●逗子の歩みとゆかりの文学作品	4/9～5/12	図書館	図書館
	●逗子市市制 60 周年記念式典	4/20	逗子文化プラザなぎさホール	企画課
	●逗子市市制 60 周年記念アマチュア無線局の運用	4/20～1/31	市内各所	企画課 (逗子・葉山アマチュア無線クラブ)
	●逗子市体験学習施設スマイルオープン	4/26、5/31・6/1	体験学習施設スマイル	児童青少年課
	●逗子市市制 60 周年クラシックコンサート	4/27	逗子文化プラザなぎさホール	企画課 (コンチェルト・カメラアローズ)
5 月	●チャレンジデー 2014	5/28	市内各所	文化スポーツ課
	●第 57 回逗子海岸花火大会	5/29	逗子海岸	経済観光課
6 月	●60 歳までに禁煙をめざす教室	6/1・9/7・12/14	市役所ほか	国保健康課
	●錦織健テノールリサイタル	6/1	逗子文化プラザなぎさホール	企画課 (逗子サロンコンサート)
	●石原慎太郎文庫開設	6/11	図書館	図書館
7 月	●Z-Learning の取り組み	7/8	逗子中学校	学校教育課
8 月	●2014 ずし平和デー	8/21～24	逗子文化プラザホール	秘書広報課
9 月	●逗子アートフェスティバル 2014	9/20～11/24	市内各所	文化スポーツ課
	●「逗子の公教育の歩みを知ろう」展	9/5～11 土日除く	市役所市民ホール	教育研究所
	●家庭教育講座 山崎直子さん講演	9/5	逗子文化プラザさざなみホール	社会教育課
10 月	●逗子のここが好きフォトコンテスト	11/4～7	市役所市民ホール	学校教育課
	●逗子の未来絵画コンテスト	11/4～7	市役所市民ホール	学校教育課
	●「逗子のジオラマ」制作：逗子中学校美術部	10/30	逗子中学校	学校教育課
11 月	●タイムカプセルオープン	11/9	第一運動公園	企画課
	●スポーツの祭典	11/15	第一運動公園	文化スポーツ課
	●スマイルまつり	11/19	体験学習施設スマイル	児童青少年課
1 月	●逗子にずっと暮らし続けたい ひとりでも安心な在宅医療	1/11	逗子文化プラザなぎさホール	企画課 (逗子・葉山地域医療を考える会)
	●逗子市内一周駅伝競走大会	1/11	市内	文化スポーツ課
	●成人式	1/12	逗子文化プラザホール	児童青少年課
	●国際文化フォーラム in 逗子	1/24	逗子文化プラザさざなみホールほか	市民協働課
	●池子の森自然公園開園記念式典	1/31	池子の森自然公園	基地対策課
3 月	●逗子市市制 60 周年記念誌刊行	3/31		社会教育課

4月20日▶逗子文化プラザなぎさホール

# 逗子市市制60周年記念式典



4月20日（日）市制60周年記念式典を文化プラザなぎさホールで開催しました。

オープニングを飾ったのは、神奈川フィルハーモニー管弦楽団ブラス・アンサンブルによるファンファーレ。このファンファーレは、この日のために逗子市歌を編曲したもので、式典のオープニングにふさわしい荘厳なハーモニーが会場いっぱいに響き渡りました。

第1部では、市長が式辞を述べたほか、眞下市議会議長、黒岩県知事（代理：黒川副知事）など多くのご来賓の方々にご祝辞を賜りました。

第2部では、表彰式として、地域社会功労表彰、自治功労表彰、特別功労表彰、技能功労者表彰、優秀技能者表彰など1団体、21の方が受表彰されました。



第3部は記念コンサート。神奈川フィルハーモニー管弦楽団ブラス・アンサンブルと市立3中学校吹奏楽部、総勢80人による迫力ある演奏に、会場は大きな拍手に包まれました。また、プログラムの最後にはサプライズゲストとして逗子市出身のアコースティックデュオ「華麗」にも加わっていただき、来場者全員で市歌を斉唱しました。

60年にわたり逗子市を築いてきた市民の力が、「笑顔…かがやく未来のまち ずし」というキャッチフレーズのもと、次につながるエネルギーとなって未来を担う次の世代を笑顔であふれさせてくれることを祈念し、大盛況のうちに幕を閉じました。



インタビューを受ける久木中学校の高崎日菜乃さん



# 逗子のむかしむかしおはなし会

市制60周年にあたり、図書館では、逗子の歴史・地理・文化について、子どもたちに興味や関心をもってもらうための、また、逗子に古くから伝わる昔話を広く知ってもらうための企画を考え、子どもたちに、逗子に古くから伝わる3つの昔話を中心におはなし会を実施しました。



## 「かっぱまつ」

山の根にさんざん人を困らせるかっぱが棲んでいたが、かっぱは捕えられ、松の木に吊るされるお仕置きを受けた後、許されて松の見えない所へと去っていった。

## 「お夏ぎつねと孫三郎ぎつね」

昔、逗子にはたくさんのぎつねが棲んでいたが、中でも小坪のお夏ぎつねと孫三郎ぎつねと呼ばれる夫婦のぎつねは頭が良く、たくさんの人を化かして遊んでいた。

## 「沼間の大蛇たいじ」

沼間に七つの首をもった大蛇が棲んでいて、たびたび人を襲って困らせていたが、退治しようにもできなかった。行基というお坊さんが観音さまを作り上げ、それをかざして祈ると大蛇は改心し、平穏な日が訪れた。

当日は、40名近くの親子連れが参加し、中には、逗子にこのような面白い昔話があることを知らなかったと感想をのべられる方もいました。

図書館では、こうした地元で古くから伝わる昔話や伝説を記した資料を収集・整理し、市民の皆さんに提供することで、逗子の歴史を広く知ってもらい、後世に伝えていくように努めていきます。



4月9日～5月12日▶図書館

# 逗子の歩みとゆかりの文学作品



市制60周年の記念にあわせ、図書館ではこれまで逗子のたどってきた道のりをできるだけ多くの市民に知っていただこうと、郷土に関する資料の収集に力を入れ、特に文学に現れた逗子の姿を浮き彫りにすることができるよう、近現代の逗子にゆかりのある文学作品を収集してきました。

逗子は、明治の中頃、徳富蘆花の「不如帰」の作品の舞台となったことで、一躍全国にその名を知られるようになりました。1889年（明治22年）の国鉄横須賀線の開通とともに、逗子に保養のための施設が整備され、文豪国木田独歩や泉鏡花、日本におけるジャーナリストの先駆者徳富蘇峰らそうそうたる文化人が逗子に暮らしました。

海・山・川と自然に恵まれた土地柄から、昭和40年代以降は住宅都市としての色彩が濃くなってきていますが、1955年（昭和30年）には、石原慎太郎の「太陽の季節」の作品の舞台となったこと、また多くの文人に愛された「なぎさホテル」もあり、逗子は再び脚光を浴びることとなりました。

芥川賞受賞作家の多田裕計・中里恒子・堀田善衛・林京子・辺見庸や直木賞受賞作家の高橋治・なかにし礼らの作家が逗子で暮らし、その作品の中に逗子の光景が数多くちりばめられています。

文学作品を通して自然に恵まれた逗子を実感できるように、60周年の記念の時期に合わせて収集した作品を展示しました。



4月20日～1月31日▶市内各所 ※主催：逗子・葉山アマチュア無線クラブ

# 逗子市市制60周年記念アマチュア無線局(8J1ZC)の運用



私たち「逗子・葉山アマチュア無線クラブ」では、市制60周年を記念し、国から特別なアマチュア無線局の免許をいただき、全国のアマチュア無線家の皆さんと交信しPRしました。

そもそも、アマチュア無線では無線従事者の国家資格を取得し、無線局開局申請をするとコールサイン（呼出符号）というものが与えられます。これは、各々違いその局の名前のようなもので、世界共通のルールにより決められています。通常、日本のアマチュア無線局の場合には“J”か“7”で始まる6桁のコールサインが指定されるのですが、日本国内で開催される特別なイベントに限り“8”で始まるコールサインをいただくことができます。普段の私たちのクラブのコールサインは“JA1YUU”ですが、期間中に



限り市制60周年記念局として“8J1ZC（Zushi-Cityの略）”をいただくことができました。

この“8”で始まるコールサインは大変珍しく、一たび電波を出せば、国内に限らず海外からも交信を希望する局からたくさんの呼び出しがかかります。

そして、交信が終了しますとQSLカードといわれる絵葉書サイズの交信証明書を発行します。これには、いつ、どの周波数で、どれくらいの信号強度で交信できましたという詳細なデータを記入して相手局にお送りします。このカードの裏面に逗子市の写真と説明文を印刷してPRしています。

記念局の免許は4月20日（日）から2015年（平成27年）1月31日（土）までであり、最終的には6,274局を超える皆さんと交信することができました。

逗子市は日本全国790市のうちの1市ですが、できるだけたくさんのアマチュア無線家の皆さんに、どのように良いまちであるかを知っていただけるようクラブ員一同趣味としても楽しみながら交信しました。



6m & Down コンテストで関東3位になりました。

コンテストでは限られた時間内に多数の局と交信し得点を競います。このコンテストは国内でも有名な大規模なもので、7月5日（土）21:00～6日（日）15:00までの間、約千局と交信しました。



4月27日▶文化プラザなぎさホール ※主催：コンチェルト・カメリアローズ

# 逗子市市制60周年 クラシックコンサート



4月27日（日）逗子市在住の演奏家グループ、コンチェルト・カメリアローズの第8回コンサートが文化プラザなぎさホールで行われました。この会は、市制50周年記念コンサートの出演者を発起人に2005年（平成17年）に発足、第1回を逗子文化プラザオープニング企画で行っており、お陰様で今回、市制60周年記念事業として開催したことは、ホールの歴史、市の節目と共に歩んできた思いがあり、とても感慨深いものでした。

カメリアローズとは、逗子のシンボルである「椿」に寄せて命名したものです。音楽を通して、世代を超えた多くの方々に“夢、遊び、希望の輪”を広げたいという思いで、定期的な演奏会の他、スクールコンサート、親子コンサート等、地域密着型で活動を続けております。

逗子文化プラザホールを拠点とするこの定期公演では、本格的なクラシックをわかりやすく気軽に聴いていただきたいということで、毎回ゲストをお招きしテーマを決め、トークを挟んだコンサート作りを目指しています。今回は「ウィーン古典派の作曲家」を中心としたテーマで行われ、ゲストは桜山在住のオーボエ奏者、中山正瑠氏。華麗なテクニックで客席を大いに沸かせてくれました。

また、神代恭子のヴァイオリンと、池浦七菜



子のピアノによるデュオでは、ウィーンの香り溢れるシューベルトをお届けしました。

休憩を挟み、ベートーヴェンの「月光」も全楽章演奏され、ソプラノ石井はるか、メゾソプラノ徳永桃子は、それぞれのソロに加えて、魅力あふれる美しい重唱も披露し聴衆を魅了しました。



毎回自作の新曲も披露しながらMCを担当しているのは、作曲家・ピアニストの徳永洋明で、豆知識満載、ユーモアたっぷりのトークも、すっかり名物となり、最後は自らの編曲による全員合奏となり、お客様との距離も縮まり、大変な盛り上がりのうちに幕を閉じました。

5月29日▶逗子海岸

# 第57回逗子海岸花火大会



第57回逗子海岸花火大会は、逗子市と逗子市観光協会の共催で5月29日（木）に行われ、19時30分から20時15分までの45分間で約7,000発を打ち上げました。

当日は午後から天気が急変し、一時は強い雨が降ってきましたが、開催時間の前にはすっかり天気も回復し、逗子海岸を中心に西側は浪子不動園地や逗子海岸ロードオアシス、東側は浄水管理センターまで約10万人の観客でにぎわいました。



今回は市制60周年記念ということで、逗子出身の歌手「NiM2（エヌアイエムツー）」の曲をバックにメッセージ花火の打ち上げや、市内中学生の吹奏楽（録音）に合わせて型物と呼ばれる「60」の形に開く花火の打ち上げ、また、この60周年を記念して復活した水中花火などで会場は大いに盛り上がりました。

そして、この逗子海岸花火大会に欠かせず、多くの方々を魅了しているのが、特別協賛である株式会社コロワイド提供のコロワイドタイムです。

音楽に合わせて15分間で約5,000発もの花火を打ち上げるもので、これだけを見に来られるお客さまもいるくらい、逗子海岸でしか体験できない圧倒的な迫力のグランドフィナーレです。

2004年（平成16年）から特別協賛が始まり、年々観客数が増加して、メイン会場である逗子

海岸の収容規模を超える観客が集まるようになってきたことから、2012年（平成24年）からは海水浴場開設期間前の海の家が建っていない時期に開催することに変更し、2014年（平成26年）は平日開催としました。

今回も、逗子警察署を始め各交通機関、逗子市消防団、逗子市交通安全協会、海上保安庁、マリナー関係者等、多くの方々の協力により、大きな事故もなく終了することができました。



5月28日▶市内各所

# チャレンジデー2014

チャレンジデーは、気軽に運動をはじめられる「きっかけづくり」のイベントとして、神奈川県内の自治体では逗子市が2012年（平成24年）に初参加しました。今年は5月28日（水）に開催され、逗子市は鹿児島県指宿市を対戦相手に3回目の参加となりました。県内からは逗

子市を含めて3市4町の参加がありましたが、これは、神奈川県内で、超高齢社会を乗り越えるために運動習慣をつくろうという取り組みとチャレンジデーの理念が合致していることが理解されてきたからにほかなりません。



県内参加市町の決起集会

## 平井市長からのメッセージ

今年は市制60周年、スポーツ都市宣言30周年という記念の年です。みんなが、ますます元気に、笑顔で暮らせるよう、スポーツを通じて、体力づくり、健康づくり、仲間づくりを進めていきましょう。チャレンジデー、みんなでスポーツを！私も、皆さんと一緒に楽しみ、健康づくりに励みます。

### 【主な運動メニュー】

日頃から運動に取り組んでいる方も、運動する機会に恵まれない方も、多くの市民の方々が、楽しく気軽に参加できるようにチャレンジデー2014でもさまざまなメニューを用意しました！

- みんなでダンス！
- チャレンジデーだョ！夜回りラン&ウォーク
- おらほのラジオ体操
- アリーナでフィナーレ！みんなで踊ろう

### 対戦結果

	参加率	人口	参加者	実施回数
指宿市	44.7%	43,090人	19,248人	2回目
逗子市	36.5%	60,211人	21,981人	3回目

結果は指宿市の勝利に終わりましたが、今年も地域の皆さまのご協力のもと様々な場所で多

数の市民がいろいろな運動やスポーツを楽しみました。

なお、チャレンジデー3回分の記録などは第2部「チャレンジデーへの参加」をご参照ください。

4月26日・5月31日・6月1日▶(第一運動公園内) 体験学習施設スマイル

# 逗子市体験学習施設スマイルオープン

## ◆ 開所記念式典

4月26日(土) 逗子市池子の第一運動公園に逗子市体験学習施設(スマイル)が開設されました。澄み切った青空の下、県立逗子高等学校の吹奏楽部の皆さんの演奏による勇壮なファンファーレが響き渡り、開所記念式典が始まりました。

今回の開所式典の開催にあたっては、中学・高校生による逗子学生懇話会(通称:スマイル学生委員会)が3月より企画し、当日の進行をはじめ、会場の飾り付けにも大活躍し、施設ラウンジの入り口には、手作りの大きなくす玉が用意されました。

当日は、開設を待ち望んでいらしゃった多くの市民の皆さんや関係者を始め、多数の来賓の皆さまにもご臨席を賜り、ご挨拶を頂きました。中でも施設の開設に向けて、利用者の視点から長きに渡って検討を重ねて来た「児童館的施設検討子ども委員会」の元委員長の石黒大地(いしぐろ だいち)さん、元副委員長の岡部葵(おかべ あおい)さんのお二人から、子ども委員会の思い出及び施設開設にかける想いをお話し頂いた時は、思わず胸が熱くなりました。この「スマイル」という愛称は、体験学習施



設を多くの皆さんに親しんでいただきたいという趣旨で、市内在住・在学の小・中・高生の皆さんから募集し、100通を超える応募の中から、逗子小学校2年生の野口 恋空(のぐち れあ)さんの作品をスマイル学生委員会が採択しました。式典では、くす玉を割ると愛称が書かれた垂れ幕が飛び出るという仕掛けにより、愛称が発表されました。受賞の挨拶では「スマイルに訪れた人がみんな笑顔になって欲しい」という作品に込められた意図を、野口さんがこの日一番の笑顔で語ってくれました。

そして、式典もいよいよクライマックスとなり、スマイルのオープンを記念したテープカットには、市長と来賓に挟まれてスマイル学生委員会の代表二人が緊張の面持ちでスタンバイし、ファンファーレを合図に鋏を入れ、無事、大役を果たしました。



## ◆ Happyスマイルフェスティバル

5月31日（土）・6月1日（日）の二日間、オープニングイベント「Happyスマイルフェスティバル」を開催しました。

この「Happyスマイルフェスティバル」は、主な施設利用者である、市内在住・在学の小・中・高生による通称スマイル学生委員会が中心となってイベントの企画・運営を行い、市内在学の高校生が子ども向けのアトラクション等にボランティアとして参加し、また、施設の各種設備のデモンストレーションを担当するなど、まさに児童青少年の、児童青少年による、児童青少年のためのオープニングイベントとなりました。

初日の5月31日（土）スポーツルームでは、県立逗葉高等学校の生徒が幼児や小学生を対象としたバレーボール教室、バドミントン教室を実施。年の近いお兄さん、お姉さんが指導者になり、子どもたちが楽しく体験できるようにミニゲームなど趣向を凝らして教えてくれたので、スポーツルームは、一日中、子どもたちの大きな歓声に包まれました。

また、スタジオではセールスポイントでもある音響・映像機器を活用して、2014年（平成26年）3月に「逗子市高校生石巻等派遣研修」として宮城県石巻市等に派遣された高校生の受講者が、市民の方を対象とした現地研修の報告会を行いました。市長・副市長を始め、現地で交流した石巻高校生カフェ「かぎかっこ」のス

タッフの皆さんにも出席いただき、東北への想い、復興への願いを共有しました。

2日目の6月1日（日）も良いお天気に恵まれて、朝から多くの方にご来場いただきました。アトリエでは、子ども委員会の企画によるチャレンジコーナーとして、英語あそびや手話体験などのブースが登場し、興味があっても少し敷居の高かった事に挑戦するきっかけを来場者へ提供しました。また、宮城県石巻市の高校生カフェ「かぎかっこ」のスタッフの皆さんとスマイル学生委員会のメンバーが中心となり、「かぎかっこ」の逗子支店として「ずしのまきカフェ」を一日限定でオープンし、石巻の特産品である「くじら」を使ったユニークなオープンサンドや、見た目も鮮やかなスペシャルドリンクを販売して、東北の味と心意気を届けてくれました。

敷地内にあるプレイルームとカフェでは、乳幼児とその保護者を対象としたイベントとして、通常のほっとスペースの他に、お母さんたちによる吹奏楽グループ、「ママブラス」による演奏や、懐かしいダンスミュージックに合わせた親子で踊ろう！「パパディスコ」でフィーバーや、プロのミュージシャンによる上質な音楽、CHOCOTTO LIVEが開催されました。その他にも多くの児童青少年による様々な企画が催され、多くの家族連れに新しい遊び場が出来たことを十二分にアピールできました。



ずしのまきカフェの様子



逗子市高校生石巻等派遣研修の報告の様子

## ◆ スマイルのお披露目

スマイルは、多くの人々が自由に集い語らう「ラウンジ」を中心として、東西に長く伸びた敷地内に各棟が配置されるというユニークな形状を持ち、各棟は屋根付きの通路、道広場により結ばれ、遊び場や歓談の場としても活用できます。



手作りスイーツと音楽の店「カフェ CHOCOTTO (ちょこっと)」。利用者の交流の場として、美味しい軽食・スイーツと上質な音楽を提供するコミュニティカフェがオープンしました。



カフェの隣り、公園の小山や滑り台等の遊具を見渡せるスペースには道広場を挟んで大・小のプレイルームを設置。温かみのあるコルクの床とピッカピカのおもちゃが、乳幼児の来室を今や遅しと待っています。



日中、穏やかな日差しが入るアトリエ (多目的室1・2)。アイデアを生み出すミーティングスペースから、工作や料理まで出来るワークスペースへと変幻自在な空間は、無限の可能性を秘めた若き芸術家の力強い味方です。



勉強部屋 (多目的室3) は、「児童館の施設検討子ども懇話会」のメンバーが特に拘った部屋。勉強に集中できるように図書館に設置されているような机が欲しいというリクエストに応えました。小・中・高生の勉強したい! を熱烈応援します。



スタジオ (多目的室4)。大きな鏡、オーディオミキサー、150インチの大型スクリーンなどこだわりの設備が満載です。将来スマイルで腕を磨いたダンサーやミュージシャンがデビューするのも遠くない話でしょう。



ひととき大きな建物がスポーツルーム (多目的室5)。床や壁にふだんに使われた木材が親しみやすさを感じさせる空間です。バスケットやバレーボール、バドミントン、卓球など様々なスポーツで思いっきり汗を流して、心も身体もリフレッシュできます。

# 60歳までに禁煙をめざす教室

## (第1回) 呼気一酸化炭素濃度測定と講演会

6月1日(日)市役所会議室

60歳までに禁煙をめざす希望者を対象に、呼気一酸化炭素濃度測定と講演会を実施しました。「今こそ禁煙のチャンス！」をテーマに、たばこによる健康への影響と禁煙治療の方法をお話しいただきました。

呼気一酸化炭素濃度測定は、タバコの煙に含まれる200種類の有害物質の一つである一酸化炭素をどのくらい体内に取り込んでいるかを調べるため、測定器に20秒間息を吐いて測定します。一酸化炭素はニコチンとともに動脈硬化の原因となり、心筋梗塞や脳梗塞を引き起こします。一酸化炭素濃度は禁煙した瞬間から下がりはじめ、20分で脈拍は正常になります。この測定には8人の参加があり、実際に測定した一酸化炭素濃度の結果の見方や、具体的な禁煙外来での治療方法と効果について聞き、参加者の多くが禁煙をしようと決意している様子でした。この後、実際に禁煙外来への受診をされた方もいました。

## (第2回) たばこについての講演と禁煙個別相談

9月7日(日)市役所市民ホール

第2回は、健康フェスティバル(がんの講演会と健康イベント)の中で、たばこについての講演と禁煙個別相談を実施しました。「身近に潜むPM2.5の恐怖!それはたばこです。」と題した講演会には約70人、禁煙個別相談には2人が具体的な禁煙方法について先生に相談しました。講演会には喫煙者より非喫煙者の参加が多く、今後もたばこの害について広めてほしいという声が多くあるなど、受動喫煙の害についてとても高い関心がありました。

また、展示コーナーでは、肺がんモデルや市民の方から集めた禁煙者の成功者ストーリーを展示しました。肺がんモデルを見た参加者からは、「たばこを吸い続けたらこんなまっ黒な肺になっちゃうの!」と驚きの声が、禁煙者の成功者ストーリーを見た参加者からは、「うちのお父さんにもこの方法で禁煙してもらおうかしら?」などと非常に興味を持たれた方が多くいました。その他には、がんを防ぐための新12か条に「たばこは吸わない」「他人のたばこの煙をできるだけ避ける」が位置付けられており、これらの啓発を行いました。







### (第3回)紙芝居、クイズと個別相談

12月14日(日)市立図書館

第3回は、「家族でたばこについて考えよう」をテーマとし、図書館のお話コーナーで子ども向けに紙芝居、クイズ及び個別相談を実施しました。紙芝居とクイズには子ども9人、大人7人が参加しました。紙芝居は「けんとかんとニコチン大魔王」という題名で、公民館のお話会でたばこの害について知ったけんとかんが、お父さんの禁煙を成功させるという内容でした。就学前から小学校低学年の子どもがほとんどでしたが、真剣に話を聞き、終了後のたばこのクイズは、歓声を揚げながら大人も子どもも楽しんでいました。

また、1人の個別相談があり、禁煙外来の勧めに真剣に聞き入り、最後には禁煙を決断されたようでした。



今後も幅広い年齢層や喫煙者、非喫煙者へたばこの正しい知識の普及を行い、禁煙、受動喫煙防止の啓発に取り組んでいきます。



6月1日▶逗子文化プラザなぎさホール ※主催：逗子サロンコンサート

# 錦織健テノールリサイタル 逗子市市制60周年記念事業参加

6月1日（日）文化プラザなぎさホールにて開催した「錦織健テノールリサイタル」。市制60周年記念事業として特別に、逗子にちなんだ「さくら貝の歌」も錦織さんに歌っていただきました。

冒頭、錦織さんが「私も四捨五入すると逗子市さんと同じ年齢になるので、今日は60周年のお祝いに心を込めて『さくら貝の歌』を歌います」と挨拶されました。そして、「さくら貝の歌」は、テノールの感動的な歌と華麗なピアノ伴奏で、満席の皆さまの大喝采を浴び、大いに盛り上がりました。

### \*逗子サロンコンサート\*

1986年（昭和61年）に7人の発起人により発足し、今年で30年目のコンサート活動をしています。日本のトップアーティスト、地域の若い音楽家による定期演奏会や音楽講座

を通して、偉大な作曲家への知識を広げ、また、喫茶店での街角おんがく会等、クラシック音楽を身近に親しんでもらい、ひいては文化、芸術のまちづくりに少しでも貢献できればと願っています。

### \*演奏曲目\*

- 滝廉太郎／荒城の月
- 越谷達之助／初恋
- 山田耕祥／この道、からたちの花
- 服部良一／蘇州夜曲
- 八洲秀章／さくら貝の歌
- ブッチェーニ／「トゥーランドット」より“誰も寝てはならぬ”
- サルトリ&クアラントット／タイム・トゥ・セイ・グッバイ
- バーンスタイン／「ウエストサイド物語」より“マリア”
- ララ／グラナダ



6月11日▶図書館

## 石原慎太郎文庫開設



多感な青春時代を弟裕次郎と共に逗子で過ごし、逗子をこよなく愛しておられる作家石原慎太郎氏は、1956年（昭和31年）逗子・葉山を作品の舞台とした「太陽の季節」で芥川賞を受賞しました。昭和30年代から40年代にかけて数多くの小説を世に送り出し、人気作家としての地位を確立しました。その後も、小説のみならず社会評論・芸術論・文学論など多彩な作品を発表しています。小説には「海」を舞台としたシーンがたくさん描かれ、逗子で過ごした若き日の思い出が、作品の背景としてあるようです。

また、小説を原作とした映画も数多く発表され、特に弟裕次郎主演の作品は、当時の若者に多くの影響を与えました。

市制60周年の記念すべき年に、石原氏本人より逗子の自宅で所蔵していた本の寄贈申出がありました。約3200冊を寄贈いただきましたが、その内訳は、石原氏本人の著書、石原氏と親交のあった大江健三郎・井上靖・遠藤周作・三島



由紀夫・吉行淳之介ら作家のサイン入りの著書、その他文学全集など多種・多様にわたっています。

今回の寄贈により、石原文学をほぼ網羅できるコレクションを形成することとなりました。その他、本人の自署サイン色紙・絵画・写真なども同時に寄贈いただき、石原文学の集大成ともいえる文学館的コーナーとなり多くの市民の皆さんに石原文学を楽しんでいただくと同時に、石原文学研究の拠点となることが期待されます。



7月8日 ▶ 逗子中学校

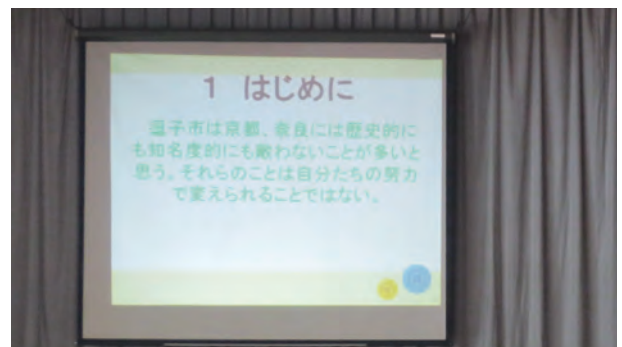
# Z-Learning の取り組み

逗子中学校66期生は1年生から、市長をはじめ市役所の方々のご講演を聞いたり、横浜めぐりや自然体験学習に取り組んだりしながら、逗子市について学び、逗子市民としてできることについて継続して考えてきました。

そして、これまでの学習の集大成として2年生の終わりから「□□(対象)に、逗子市をもっと好きになってもらうには、○○をすればよい！」というテーマを各自で設定し研究を進め、修学旅行先での実地調査を踏まえて発表をしました。「外国人観光客や障がい者に、逗子市をもっと好きになってもらうには、案内に工夫をすればよい」や「私たち逗子市民が、逗子をもっと好きになるには、人の力を生かせばよい」などテーマは多岐にわたり、どの発表もとても聞き応えのあるものとなりました。大人で

はわからない、中学生ならではの視点からの発表も多くありました。

今回の取り組みを通して生徒一人ひとりが逗子市についてさらに深く考え、逗子市民として誇りをもって生活をしてもらいたい、そう願うと同時に、その可能性を実感できる取り組みでした。



8月21日～8月24日▶逗子文化プラザホール

# 2014ずし平和デー

8月21日（木）～24日（日）  
「2014ずし平和デー」が開催されました。

ずし平和デーは、戦争の悲惨さや平和の大切さ、いのちの尊さを子どもたちに伝えていくためのイベントで、2011年（平成23年）からはじまり4年目を迎えました。非核平和などの活動をしている市民団体が様々な企画を持ち寄り、ずし平和デー実行委員会と市の共催で開催しています。

市制50周年記念日に核兵器のない世界の実現をめざし、逗子市非核平和都市宣言を行って10年となり、節目の年にふさわしく期間中には9つのイベントが行われ、2,260人が来場しました。

戦後69年が経過し、戦争や原爆の記憶が次第に風化しつつある中、平和への決意を広め、次の世代へ継承していくための取り組みをこれからも続けていきます。

～次世代へ伝えたい平和のメッセージ～

## 2014ずし平和デー

LOVE & SMILE & PEACE

ZUSHI HEIWA DAY

逗子市市制60周年記念事業  
～笑顔…かかやく未来のまち ずし～

**8月21日（木）～24日（日）逗子文化プラザホール**  
【主催】ずし平和デー実行委員会【共催】逗子市

親子映画会 「対馬丸」 8月21日（木）13：30～ なぎさホール（入場無料）	ずしラブ&ピースコンサート 命どう宝～いのち今がその時～ 8月22（金）15：30～ なぎさホール（有料）	アマチュアバンド・チャリティライブ フュージョン・ジャズ・ポップス 8月23（土）17：30～ なぎさホール（有料）
逗子・葉山九条の会 女優たちによる朗読 『夏の雲は忘れない』 8月23日（土）13：00～ なぎさホール（有料）	神奈川県立 逗子高等学校 演劇部『リトルボーイズ・カミング』 8月23日（土）10：00～ さざなみホール（入場無料）	ピースメッセンジャー・広島派遣報告と 映画『アオギリにたくして』 8月23日（土）13：10～ さざなみホール（入場無料）
『学童疎開展』 絵本「うちに帰らない！」原画パネル展示 ～70年前の子どもの戦争体験を伝える～ 8月21日（木）～24日（日） ギャラリー（入場無料）	ピース・カフェ 10：00～21：00 オーガニックカフェ&映画トーク予定 8月22日（金）さざなみホール	記念植樹 非核平和都市宣言10周年 「被爆アオギリ2世」苗木植樹 8月23日（土）11：30 文化プラザ敷地内



「被爆アオギリ2世」苗木植樹



ピースメッセンジャー広島派遣報告会～語り合いの時間～

9月20日～11月24日▶市内各所

# 逗子アートフェスティバル 2014

「逗子アートフェスティバル2014 (ZAF2014)」は、9月20日(土)～11月24日(月・休)のおよそ2カ月間、逗子市内各所で開催されました。

この事業は、前年度に実施した逗子アートフェスティバル2013を受けて、市制60周年記念行事の中核として、実行委員会による企画(逗子アートサイト)を軸に、市民主体の事業も交え開催しました。企画実施責任者(アート・ディレクター)に元逗子市民で中之条ビエンナーレ等の総合ディレクターとして業績を積み上げてきた山重徹夫氏を起用しました。逗子の特徴ある地域文化資源(恵まれた自然環境や市内の施設等)を活用した現代美術展「逗子アートサイト」を中心に、逗子小学校の壁面に投影したプロジェクションマッピングショー、

逗子市で60年余りの伝統ある逗子市文化祭、そして市民主体の文化事業及び市民企画事業も一部取り込み、逗子の魅力を全国に発信するとともに、地域活性化にもつながる事業を目指しました。市民によるアートフェスティバル実行委員会が主催し、逗子市、逗子市教育委員会をはじめ様々な団体の共催、協力によって実現しました。

参加者(推定)：逗子アートフェスティバル2014 全体約52,000人、プロジェクションマッピングショー 約5,000人、アートサイト 約3,750人、文化祭 約8,100人、連携公演オーケストラコンサート 約300人、市民企画その他 約34,800人



「アートツアー」(アートサイト)

### ○ オープニング・フォーラム

日時：9月20日（土）

場所：逗子文化プラザ さざなみホール

内容：逗子市長、アート・ディレクターの山重  
徹夫氏及びメディアーツ逗子の石多未知

行氏でてい談し、2014年度（平成26年度）のアートフェスティバルの意義を訴えるとともに、フェスティバルの内容等を紹介しました。

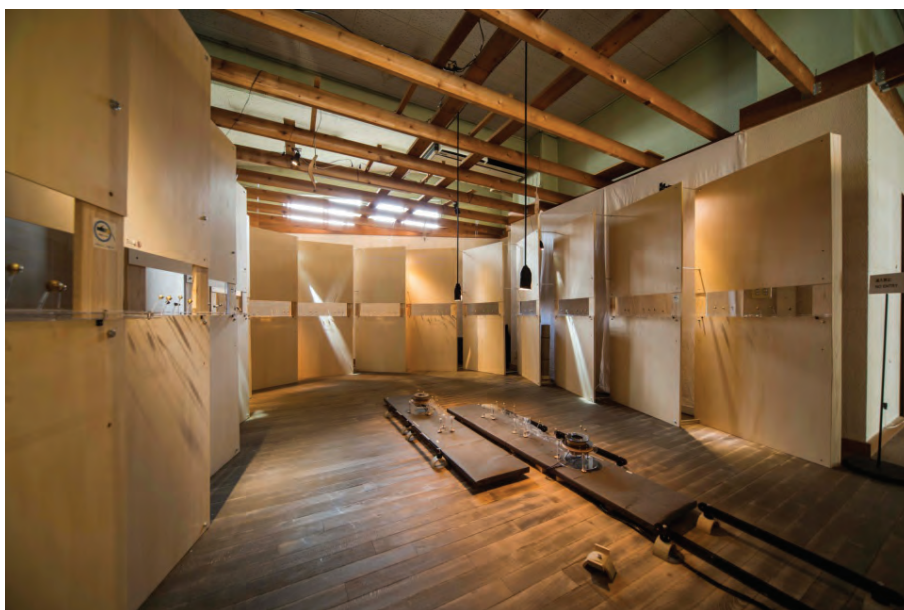


### ○ 「逗子アートサイト」

日時：9月20日（土）～10月13日（月・祝）

内容：逗子内外の作家により、逗子の地域資源である自然環境や建築施設等でアート作品を制作・設置することで、地域の魅力や課題を「観る（再認識）」とともに、

首都圏・全国に向けて逗子をアピールしました。また、逗子市内の作家に呼び掛けて人材を発掘し、逗子市の文化力を高め、さらにネットワークの形成を図りました。



「Sound Drops」（アートサイト）

○プロジェクションマッピング・ショー（メディアーツ逗子との共催）

日時：9月20日（土）～21日（日）

場所：逗子文化プラザ フェスティバルパーク

内容：オープニング事業として、昨年度に引き続き、1分間のプロジェクションマッピ

ング作品の国際コンペ、招へい作家作品や子どもたちとのワークショップによる「光の落書き」などのショーを投影しました。



「光の落書き」プロジェクションマッピング

○逗子市文化祭（逗子市文化協会との共催）

日時：10月13日（月・祝）～11月21日（金）

場所：逗子文化プラザホール他

内容：第64回逗子市文化祭は、長い歴史と伝統の中で市民文化の花を咲かせてきました。今年度は音楽、舞踊、演劇の芸能部門9団体、並びに美術・工芸・園芸等の

展示・その他部門11団体が参加しました。アートフェスティバルの一環として開催することで、参加団体や観客の広がり及び若返りを図り、地域文化の発展に貢献しています。



「グレイクリスマス」



「鎌倉彫桐彫会展」



### ○連携公演オーケストラコンサート「光と音が奏でる風景」(逗子文化プラザホール主催)

日時：10月26日(日)

場所：逗子文化プラザなぎさホール

内容：アートフェスティバルに連携して、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団による特別演奏会を実施しました。海

と太陽のまち「逗子」をほうふつさせる「光」に焦点を当て、曲目を選定し、市民から募集された逗子の景観写真を用い、光の演出効果等による音とのコラボレーションを試みました。



「光と音が奏でる風景」文化プラザホール

### ○市民企画事業

日時：9月20日(土)～11月24日(月・休)の期間中

内容：作品展示や音楽・演劇の披露、ワークショップなど逗子のまちなかで市民や商工会等が独自で企画・実施する様々な文化事業を実施しました。「地域の文化を市民の手で拓く」を基本方針として文化振興を進めている逗子ならではの企画でした。

### ○その他の取り組み

- ・調査評価…関東学院大学人間環境学部の協力を得て、参加アーティストや来場者に対しヒアリング等の調査を行い、次年度以降の在り方の参考にしました。
- ・ボランティアを募集し、作品の制作や会場の整理等、様々な場面で参加していただきました。
- ・市は、広報ずしによる広報やガイドブック作成など広報面でサポートしました。

# 「逗子の公教育の歩みを知ろう」展

9月5日（金）から11日（木）の土・日曜日を除く5日間、『逗子の公教育の歩みを知ろう』展を市役所1階ホールで開催しました。展示した史料は逗子の公教育のれい明期、関東大震災前後の教育、戦中から戦後への教育の激動期の3期に区分し展示しました。これらの史料は、市内在住の小池成子氏が逗子市教育研究所に勤務されていたとき地道に収集・整理・保管されていたもので、中には他では見られないものも保管され、大変貴重なものばかりです。

各時期毎に区分・展示した史料の概要は次のとおりです。

## 1 逗子の公教育の始まり



- (1) 明治期に使用されていた教科書
- (2) 学制発布前後の逗子の学校の様子

＜郷学校設立＞国の指示により県下25校設立。1871年（明治4年）9月、堀内郷学校設立。本校を葉山町堀内村相福寺本堂に、小坪支校を香蔵寺（のちの小坪寺）庫裏に設立。1875年（明治6年）6月、小学舎設立に伴い廃校となる。

＜学制発布＞1872年（明治5年）7月。

現小坪小学校 … 1873年（明治6年）7月第一大学区第10中学区104番小学鷺浦学舎として設立。

現逗子小学校 … 第一大学区第10中学区101番逗子学校を逗子村、桜山村、沼間村、池子村、久木村が連合して逗子村延命寺を借用し設立。

- (3) 先生の試験による登用、児童は月謝を納め進級試験に落第もある、男女共学であるなどの資料も展示。

## 2 関東大震災の頃の学校

- (1) 逗子は、火災による被害より津波による被害が大きかったことがわかる被害統計資料。

関東大震災 三浦郡被害状況一覧  
1923.9.1(大正12)

町村名	倒壊(棟)	全焼	流失	全壊崩壊	死者不明
	全潰半壊	全半壊			
横須賀市	1761	10433	2094		768
田津町	468	1315		15 21	104
衣笠村	22	53			0
浦賀町	1169	1144	131	33	245
久里浜村	152	238			5 12
北下浦村	167	147		1 2	14
南下浦村	160	328	3 3 5		7 7
三崎町	234	408			110 42
初声村	138	285			10 12
長井村	124	91			5 12
武山村	103	47			100 9
西浦村	142	334			70 10,11,12
葉山村	170	241	4		90 19
逗子町	988	887	4 90		30 70
計	5798	15951	2233	93 3 5 49 450	1324

（資料）神奈川県震災誌 三浦郡役所文書  
（町村単位速報） 大正15年3月現在  
黒報告教  
青 照会受領  
赤 署名

- (2) 逗子小学校
  - ① 校舎倒壊、教師1名殉職、何より御真影守護優先。
  - ② 市内各所に学校職員が交渉し、分散して授業を行う。
  - ③ 海軍将官の子どもも通学。
- (3) 小坪小学校

- ① 校舎倒壊、校庭が避難所に、一部倒壊校舎は負傷者の救護所になる。
- ② 小坪地区の各戸米麦等の残量調査。
- ③ 津波7m、教場の確保と分散授業。
- ④ 特殊夜間学校



### 3 戦時下と戦後教育

#### (1) 戦時下の教育

- ① 学徒動員、教師出征、大軍港都市横須賀に合併。
- ② 逗子小学校
  - ・県下のみならず外国（インド・支那）から視察、有名校。
  - ・海軍とのつながり…後援会長は海軍中将。
- ③ 小坪小学校
  - ・児童の鍛錬、防空壕へ避難、製塩等の諸作業、新聞配達、給食の様子。

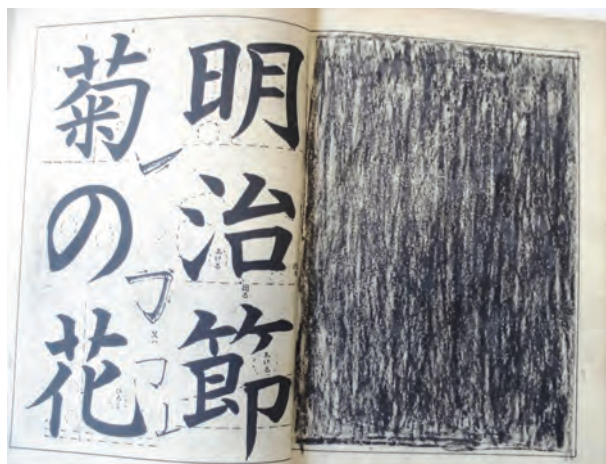
#### (2) 戦争直後の教育

- ① GHQによる学校視察、指導、教員資格

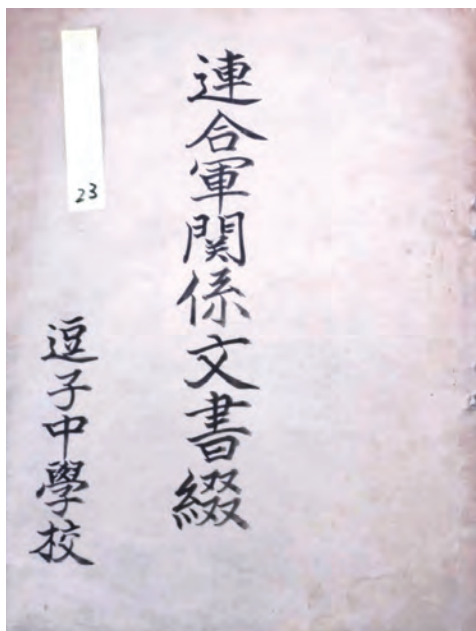


審査。

- ② 墨塗り教科書、砲台洞窟での爆発事故死。



- ③ 新生逗子中学校のGHQへの各種報告資料。



- ④ 沼間小学校開設、本校は元兵舎。



- ⑤ 久木小学校は久木中学校と同居。

9月5日▶逗子文化プラザさざなみホール

# 家庭教育講座 山崎直子さん講演



9月5日（金）、文化プラザさざなみホールにおいて、市制60周年記念事業／家庭教育講座「宇宙・人・夢をつなぐ～未来を担う子どもたちのために～」を開催し、市内外から

127人の方が参加されました。

講演では、山崎さんご自身の生い立ちから、宇宙飛行士を目指すきっかけや、訓練の様子、宇宙での生活など、多数の写真やスライドを使いながら、分かりやすく丁寧に語っていただきました。

山崎さんは幼い頃から夜空を見上げて星の数を数えることが好きで、小中学校の頃の夢は学校の先生になることでしたが、中学3年生の時に見たスペースシャトル・チャレンジャー号の事故で、宇宙船の中に志願者の中から選ばれた高校教師が乗っていたことを知り、教師と宇宙の2つの憧れがつながり、宇宙飛行士を目指すきっかけとなったそうです。

大学院在籍中、アメリカへ留学し、JAXA（宇宙航空研究開発機構）へは2度目の応募の1999年（平成11年）に採用され、晴れて宇宙飛行士になりましたが、長期にわたる訓練が続



き、訓練を開始してから11年後の2010年（平成22年）、スペースシャトル・ディスカバリー号で待望の宇宙に行き、国際宇宙ステーション組立補給のミッションに従事されました。

質疑応答では、夢に向かって諦めずに訓練を続けることができたのはなぜかという質問に対し、山崎さんは、宇宙飛行士として宇宙へ行けるのか分からない中でも、学ぶことや訓練は楽しく、時には「しなければならない」と考え苦しむことがあっても、家族や周囲の人に助けを仰ぎながら、最後は自分の責任だと覚悟を決めたことで、気持ちが楽になったと答えてくださいました。

参加者からは、自分自身の生き方の指針にするとともに、子どもに話し、子育てに生かしたいという感想をいただくなど、大変好評を得ることができました。



11月4日～7日▶市役所市民ホール

# 逗子のここが好き フォトコンテスト

「逗子のここが好き フォトコンテスト」は、市内の小・中学生の夏休みの自由課題として、募集しました。65作品の応募があり、11月4日（火）から7日（金）まで逗子市役所1階の市民ホールに展示しました。審査は、逗子市

立小・中学校の先生方で組織されている「逗子教育研究会」の図工・美術部の先生方が行い入賞作品を決定しました。また、平井市長・村松教育長も「市長賞」・「教育長賞」を選びました。



**金賞** 小坪小学校 4年1組 宮木一郎



大好きなおじいちゃんとおばあちゃんが、いっしょうけんめいはたらいているからです。



**銀賞** 逗子小学校 6年3組 八塚崇帆



僕は逗子の海が好きです。砂浜に郵便ポストがある風景は他に見られない逗子ならではのものだと思います。ポストが海を見守っているように好きです。



**銅賞** 逗子小学校 6年3組 照下友貴



真夏でも涼しく木漏れ日が美しいので選びました。この場所は海から披露山に抜ける道で、小さいころから祖父とよく散歩している大切な道です。



**銅賞** 久木小学校 5年1組 村山虎太郎



このヤシの木の道がどこまでも続いていきそうな道で「夏」という感じがでていて好きです。



久木小学校 4年2組 植村 薫



豆子が好きで、特に海岸が「豆子」って思えるから。



豆子小学校 5年3組 川合真岬



JR豆子駅でしか見たことがない増結作業。みんながワクワク、ドキドキする何かが隠れているような気がして好きです。

応募作品

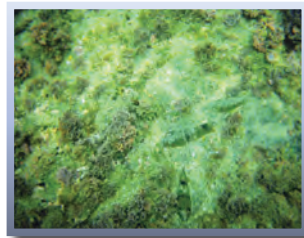
豆子小 5-4 清水桃加



豆子小 5-3 梅田将太



豆子小 5-1 中澤冬晴



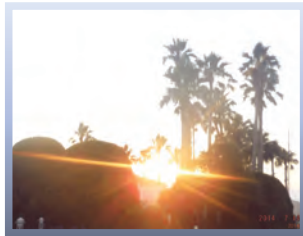
豆子小 5-4 梅谷潤之介



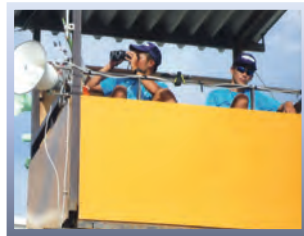
豆子小 5-3 清水純礼



豆子小 5-4 永山竜也



豆子小 4-1 野村海里



豆子小 5-4 石村大地



豆子小 6-1 二見星地



豆子小 6-3 井口美沙



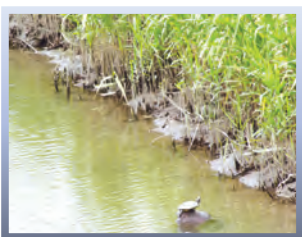
豆子小 5-3 岩佐涼介



豆子小 6-4 菅原大空



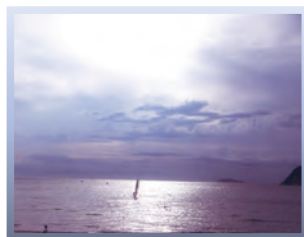
豆子小 5-4 青木美衣奈



豆子小 5-4 野口永楽



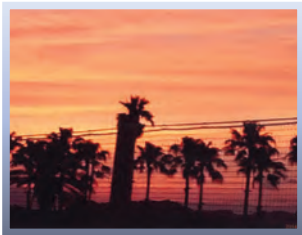
豆子小 6-4 飯野 和



豆子小 5-4 風間優里



逗子小 5-1 永山義也



逗子小 4-4 平本紗彩



逗子小 6-4 佐藤遥香



池子小 6-2 増田莉乃



池子小 4-1 木村颯汰



池子小 4-1 馬場 真



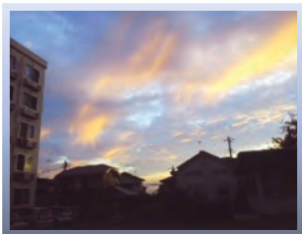
池子小 4-1 加藤竜弥



池子小 4-2 西 匠



池子小 6-2 岡部みのり



沼間小 4-2 倉澤香穂



沼間小 5-2 グラッツ・エバン



沼間小 5-2 石川瑠杏



小坪小 4-2 たけ樋てっ平



久木小 5-3 花房あかり



久木小 5-1 久保恒志郎



久木小 4-1 渡辺真彩



久木小 5-2 風間 尚



久木小 5-2 井上航太郎



久木小 5-2 足立壮也



久木小 4-3 梅田菜那



久木小 4-1 橋口 駿



久木小 5-2 馬目颯斗



久木小 5-4 佐藤美波



久木小 5-1 井ノ上敦也



久木小 5-1 司波 凌



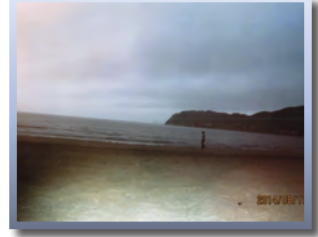
久木小 5-2 大木 心



久木小 5-3 押川かんき



久木小 5-2 金子健太



久木小 6-1 池田菜見



久木小 4-2 佐藤遼親



久木小 5-2 柴田 疾



久木小 5-2 村田真之介



久木小 5-3 平林 悠



久木小 5-1 庄司蓮太郎



久木小 5-3 梶谷元輝



久木小 5-2 田島えみり



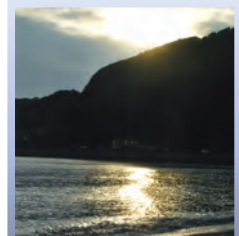
久木中 2-D 安西未来



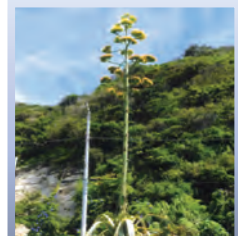
久木小 5-1 小橋来音



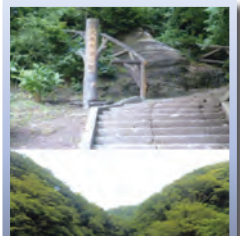
久木小 5-2 渡辺真生



逗子小 6-1 工藤彩名



久木小 5-3 稲葉凜久



逗子小 5-1 筒井新太



小坪小 4-1 菅野達也





11月4日～7日▶市役所市民ホール

# 逗子の未来 絵画コンテスト

「逗子の未来 絵画コンテスト」は、市内の小・中学生の夏休みの自由課題として、募集しました。66作品の応募があり11月4日（火）から7日（金）まで逗子市役所1階の市民ホールに展示しました。「未来の逗子が、こうなっていればいいなあ」という思いで水彩画・クレ

ヨン画などさまざまな作品がありました。

審査は、逗子市立小・中学校の先生方で組織されている「逗子教育研究会」の図工・美術部の先生方が行い、入賞作品を決定しました。また、平井市長・村松教育長も「市長賞」・「教育長賞」を選びました。

沼間小学校 4年2組 かきざきようすけ



これは未来の逗子海岸です。海底トンネルやウォータースライダーをつくり、人がいっぱい楽しめます。



小坪小学校 5年1組 雨宮なな子



この絵は、お年寄りや赤ちゃんを抱っこしている人、子どもたちが安心して暮らせたらいいなという思いを込めた描いた絵です。みんなで助け合い、優しさを伝えあえる逗子のまちであり続けたいです。



小坪小学校 5年1組 田中遥加



子どもが「たくさん」・「楽しく」遊べる海。これが「逗子の未来」



小坪小学校 3年1組 みやざき風子



海を大切にする人がゴミ拾いをしていて、生き物を大事にする人がちゃんとエサをやったりしています。あと、花を大事にしたりご飯が食べられたりします。道案内やきちんとあいさつもします。



沼間小学校 3年1組 鈴木優里



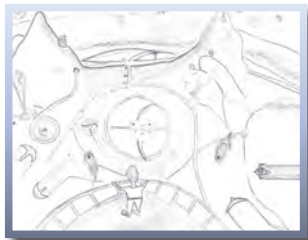
私の家の前は田越川です。たまにカモメの親子やカメがいます。5月ごろになるとたくさんのホタルが出ます。なのでたくさんの方が見に来ます。みんな「きれいだな」と喜んで笑顔になっています。これから先の未来もずっと逗子のこの自然をきれいにして守って、このきれいな逗子が続けばいいと思います。

応募作品

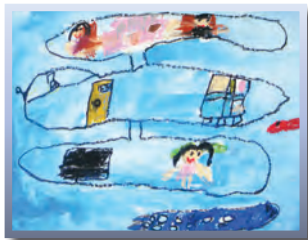
聖マリア小2年 岩井里佳



聖マリア小4年 滝沢穂太郎



池子小2-1 原カンナ



池子小2-1 藤田あいる



小坪小3-1 菅 ゆうこ



小坪小2-2 もち月あきら



小坪小4-1 小守ゆうき



小坪小4-2 吉村愛子



小坪小5-1 磯島璃音



沼間小1-1 滝沢真璃



沼間小1-1 中村ゆう花



久木小4-3 石井みなみ



久木小2-2 ささ木まや



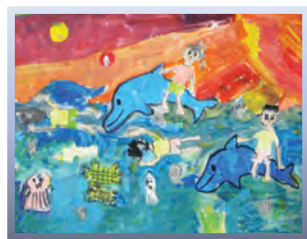
久木小4-1 竹田菜那



久木小4-3 大森智紗都



久木小4-1 三浦妃花



久木小 4-1 渡辺真彩



久木小 3-1 石井万来由



逗子小 2-2 のぐち れあ



逗子小 2-2 大谷りょう



逗子小 1-4 まつお ゆあ



逗子小 2-2 須々木りり子



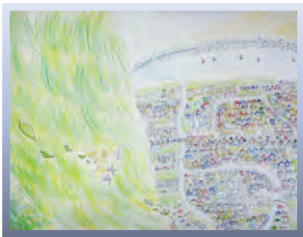
逗子小 3-2 ふくもとかいと



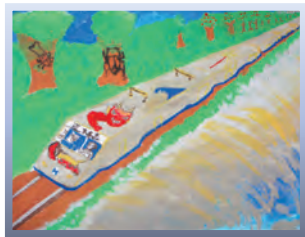
逗子小 3-2 まつもとかずや



逗子小 4-3 高橋琉南



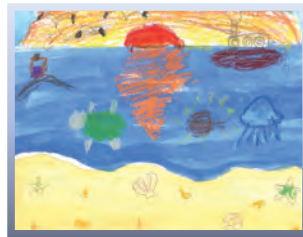
逗子小 3-4 加藤 景



逗子小 2-1 ふじたまさのり



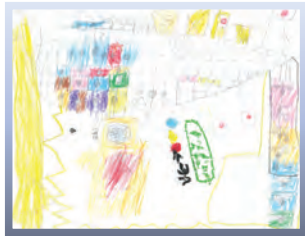
逗子小 3-1 ささ本なな子



逗子小 2-4 ふるはし めい



逗子小 1-4 本田しゅんたろう



逗子小 2-4 くりやまなつき



逗子小 2-4 うすいあもん



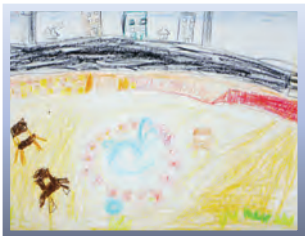
逗子小 4-2 工藤恒史



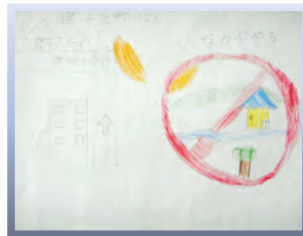
逗子小 6-1 大場美佳



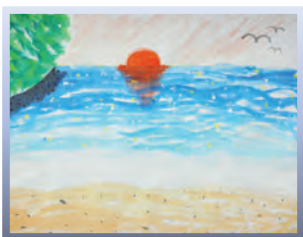
逗子小 3-3 あいこうかおん



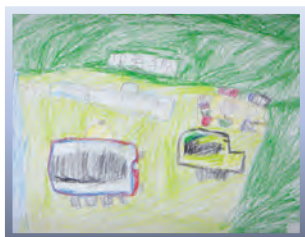
逗子小 4-3 高木 柊



小坪小 5-1 白石まり



逗子小 5-1 山本悠生



逗子小 4-3 永當陽菜



逗子小 3-1 おか山こう大



逗子小 4-3 村戸 歩



逗子小 4-3 あべ もんた



逗子小 3-3 古川 楓



逗子小 1-1 手島海裕



逗子小 4-1 佐藤靖浩



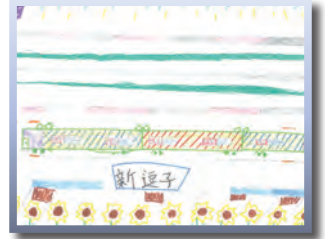
逗子小 3-2 副島自由



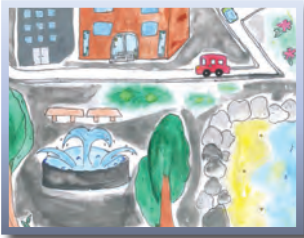
逗子小 4-3 堂本海知



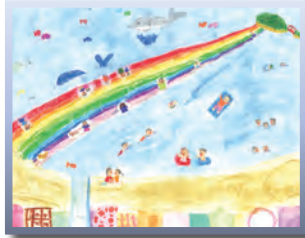
逗子小 3-3 井口哲仁



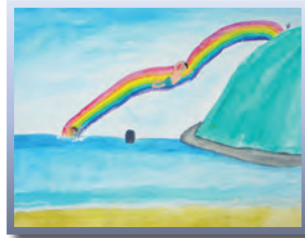
逗子小 6-4 松下莉弓



逗子小 5-2 小林 董



逗子小 5-2 平井亮成



逗子小 2-2 すずむらしんたろう



逗子小 2-3 てる下なつき



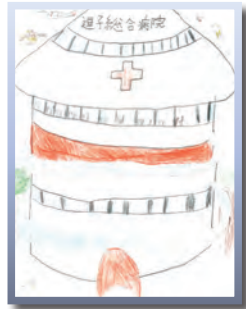
池子小 4-1 榎 美等乃



池子小 6-2 柳川 想



沼間小 5-2 佐々木清久



沼間小 6-2  
城田華那



久木小 3-1  
矢作藍海



久木小 5-1  
二上紀生



逗子小 2-1  
かるべ まお



逗子小 2-3  
まつざわなるあき



10月30日 ▶ 逗子中学校

# 「逗子のジオラマ」

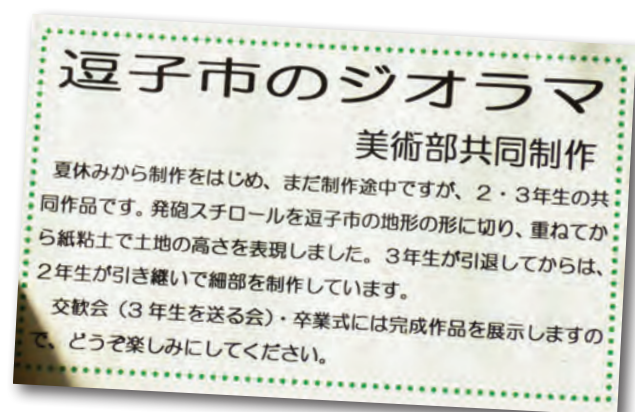
## 制作：逗子中学校美術部



逗子のジオラマを作りたいという声は、2013年（平成25年）文化祭に展示する粘土作品を作っているとき部員たちから出てきました。次の文化祭には展示しようと決め、「鎌倉・逗子の100年」という写真集を見て、昔の逗子の見取り図を描いたりしていました。そこへ、60周年記念ジオラマの話があり、制作意欲が盛り上がりました。

いざ作り始めると、住んでいるまちでも知らないことばかりだと気がつきました。地図を写し取ってもどこが丘なのかわからず、発泡スチ

ロールの土台を何回も貼り直し、粘土の斜面をつけたり削ったりしました。部員たちは制作しながら、自分の生活圈以外の逗子について知ることができたと思います。また、逗子の発展を追体験できる楽しさも、ジオラマ作りを通して知ることができました。最初に参考にした写真集「鎌倉・逗子の100年」の影響もあり、このジオラマは昔の逗子ですが、これから少しずつ逗子マリーナや市内の各団地を開発する予定です。



11月9日▶第一運動公園

## タイムカプセルオープン

11月9日（日）、成人式企画運営実行委員のみなさんと一緒にタイムカプセルを掘り出しました。

このタイムカプセルは、10年前の2004年（平成16年）10月に市制50周年記念事業の一環で第一運動公園に埋めたものです。その中には、当時市内の小学校に通う小学校4年生とその保護者の皆さんから募集した手紙（「10年後の自分」「10年後の我が子へ」）や、市民の方から募集した手紙・作文、市制50周年の記念グッズなどが入れられています。

「タイムカプセルを開けることができるの



か?」「保存状態は良好なのか?」開ける前には色々な心配がありましたが、無事に開け、中身を確認することができました。

掘り出した人の中には、何を書いたのか忘れていた人や手紙を書いていたこと自体を忘れていた人もあり、タイムカプセルの中から自分の手紙を見つけると大いに盛り上がっていました。また、10年を経て届いた保護者からのメッセージを読み、涙ぐんでいる人もいました。

このイベントの様子とタイムカプセルは2015年（平成27年）1月に開催された成人式で紹介しました。また、入っていた手紙等は、募集した当時の住所に郵送しました。



11月19日▶(第一運動公園内)体験学習施設スマイル

## スマイルまつり

4月26日(土)に逗子市池子の第一運動公園内に開設した体験学習施設(スマイル)では、11月19日(土)に「スマイルまつり」を「スポーツの祭典」と同時開催しました。

この「スマイルまつり」はスマイルが開設当初に開催した「Happyスマイルフェスティバル」同様、逗子学生懇話会(通称:スマイル学生委員会)が中心となってイベントの企画・運営を行いました。

まず、今回スマイルまつりでは、スポーツの祭典との同時開催を最大限活用することを目的としてスタンプラリーを実施し、スマイルの他にも、スポーツの祭典の会場である逗子アリーナと自由運動広場にもスタンプを設置して、多くの児童にラリーに参加してもらいました。

当日スポーツルームでは、スポーツの祭典とコラボレーションを図り、逗葉高校のバレーボール部、バトミントン部を招いて、児童を対象としたスポーツ教室を開催し、先に実施した「Happyスマイルフェスティバル」での指導経験を活かした楽しい指導で、あっという間に時間が過ぎてしまいました。

また、スタジオでは同じく逗葉高校の書道同好会による書道パフォーマンスが行われ、5人の書道ガールズが6畳以上もある巨大な紙に向

かって迫力の筆さばきを見せ、圧巻の作品が仕上がりました。

スタジオでは引き続き、スマイルの主催講座の講師を務めていただく逗子三曲会の皆さんによる琴、三絃、尺八による演奏が行われ、往古の音色によって奏でられた馴染みある曲を、多くの人が足を止めて聴き惚れていました。

アトリエではスマイル学生委員会が、今後のスマイルでの継続的なサークル活動を行うための体験型のデモンストレーションとして「クッキング」「写真」「工作」のコーナーを開設し、参加者と一緒に様々な体験をしながら、熱心に学生委員会やサークルへの勧誘を行っていました。

なお、今回のスマイルまつりでは誰もが気軽に集える交流の場がコンセプトであるスマイルの道広場を活用して、逗子市青少年指導員の方々をはじめ、多数のボランティアの方にもご協力頂き、「まつり」に不可欠な飲食コーナーやゲームコーナーを出店イベントに華を添えました。

4月に開設した体験学習施設スマイルは、市民の憩いの場、異世代間の交流の場そして児童青少年の健全育成の場として、多くの皆さんに周知されていることと思いますが、今後もスマイルまつりのようなイベントを通じて、新しい魅力を発信し続けていきたいと思っています。



書道ガールズ作品



飲食店コーナー

11月15日▶第一運動公園

# スポーツの祭典 (スポーツ都市宣言 30 周年&市制 60 周年記念)

市民のスポーツ力を結集した逗子市初のスポーツの祭典を開催しました。

いろいろなスポーツに触れて、体験できるイベントが盛りだくさん！

幅広い世代の方々が参加しやすく、自分の健康管理もできるような「メニュー作り」に力を

注ぎました。

スポーツに出会い、親しみ、もっともっと楽しみたい人、集まれ！

当日は素晴らしい秋空の下、延3,300人の参加者がありました。

## 実施メニュー

### 開会式典

10:00~10:30



逗子高校吹奏楽部によるファンファーレがスポーツの祭典のオープニングを華々しく飾りました。続いて逗子市歌などの演奏、参加者による“選手宣誓”を行いました。

### タグラグビー・ペタンク&グラウンドゴルフ

11:00~12:00

タグラグビーはタックルの代わりに腰に付けたタグをとって遊ぶスポーツ。

ペタンクは、コートに描いたサークルの中の木製ボールに金属製のボールをぶつけて得点を競うゲーム。初めての方でもチャレンジできます。  
協力：逗子葉山ラグビースクール、逗子市レクリエーション協会

### みんなでフィーバー！レッツ・ダンス

12:30~13:00

「恋するフォーチュンクッキー」をみんなで踊りました！練習から始めたので、踊ったことがない人でも大丈夫。みんなで楽しく盛り上がりました！

### ミニ運動会

13:00~15:00

パン食い競争、親子ボール運び、徒競走、玉入れ、宝釣り競走などを行いました。どれも人気のあるメニューばかり。子どもから大人まで皆で参加しました。

### 防災遠足

10:00~14:00頃

ハザードマップ片手に市内各所の防災ポイントを巡りながら、ウォーキングしました。

### バドミントン模範演技&体験コーナー

11:00~12:30

全日本大会入賞の選手が試合デモンストレーションを行いました。シャトルが激しく行き交う様は迫力満点！また、選手やコーチらによる体験コーナーも大盛況。

### フォークダンス

10:30~11:00

みんなで大きく輪になって軽快な曲に合わせてフォークダンス。みないい表情をしていました！

### バウンスボール

11:00~12:30

今注目のニュースポーツ。『だれもが、いくつからでも、いつまでもでき、“競うことよりも楽しむこと”を主とした新しいスポーツ』です。

### ウィンドサーフィン・SUP・ヨット相談会

11:00~15:00

逗子といえば海！波と風に乗るウィンドサーフィン、大人気のSUP（スタンドアップパドル）、優雅に波間を走るヨット…その実物を展示しました。楽しみ方なども解説してくれました。



### 3033 (サマルカガ) 運動コーナー ～簡単体力測定&運動アドバイス～

11:00～14:30



握力測定で自分の体力を簡単にチェック！神奈川県では1日30分、週3回、3ヶ月間運動を継続する「3033 (サマルカガ) 運動」を推奨しています。無理なく運動を続けるコツをアドバイスしてくれました。

### 血管年齢測定&栄養士・保健師による健康相談

11:00～14:30



私の血管は何歳くらい？血管の状態や老化の度合いを測定します。生活習慣や食事など、健康に関する相談コーナーもありました。

### みんなでダンス！

13:00～14:00

障がいのある人も、そうでない人も一緒にリズムに合わせてダンスを楽しみながら体を動かしました。最近運動不足かな？という方におすすめです。

### 大人向け健康体操

14:00～15:00



大人向けの健康体操教室です。普段、体を動かす機会の少ない方も、まずはチャレンジ！音楽に合わせて体を動かしました。

### 野球ふれあいイベント ～ベ이스ターズと遊ぼう！～

11:00～12:45

横浜DeNAベ이스ターズの元選手たちが、子どもたちと野球を通じたふれあいイベントを行いました。プロ選手の身体の大きさと迫力にも子ども大人も大喜び！

### 弓道体験教室

11:00～14:00

日本の伝統的な武術のひとつ“弓道”。キリリと弓を構える姿に憧れる方も多いはず。たくさんの方で賑わいました！

### テニス体験教室

11:00～15:00

初めての方でも大丈夫。ラケットを握って、球を追いかけてました！

硬式テニス、ソフトテニスの両方の体験ができました。

### 逗葉高生のバレーボール・バドミントン教室

11:00～12:00 (バレーボール)

13:00～14:00 (バドミントン)

逗葉高校の生徒が先生役になって、小中学生にバレーボールとバドミントンを教えてくれました。お兄さん、お姉さんが優しく教えてくれました。

# 逗子にずっと暮らし続けたい ひとりでも安心な在宅医療

逗子・葉山地域医療を考える会は、「最期は病院ではなく住み慣れた家で過ごしたい」という願いを原点に関心を持つ市民が集まって10年前に発足しました。その後「在宅医療」「かかりつけ医」について学びながら情報を広める活動を続けています。

今回、市制60周年を記念して、より多くの方々に逗子市の在宅医療と在宅介護の正しい情報を知っていただくとう「ひとり暮らしの在宅医療」をテーマにシンポジウムを開催しました。

始めに社会学者で「おひとりさまの老後」の著者である上野千鶴子さんに、先進的な取り組みをしている自治体の例を挙げながら「ひとり暮らしの在宅医療を可能にするのに必要なこと」について講演をして頂き、その後日本在宅ホスピス協会会長の小笠原文雄さんに「在宅医として関わったひとり暮らしの在宅医療の実際」について講演をして頂きました。

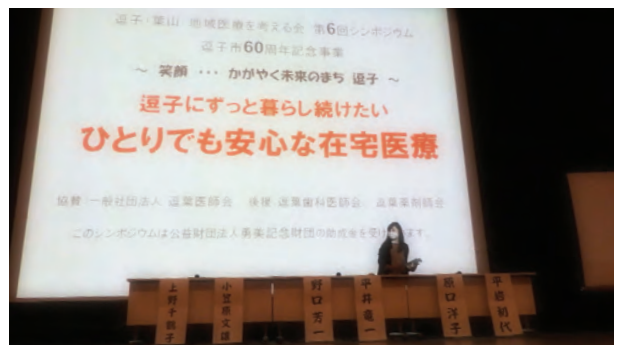
続いて、仕事をもちながら在宅で家族を看取ったご遺族の報告、逗葉医師会の野口芳一さんと平井市長の「逗子市の現状と今後の展望」の報告、グループホーム管理者の原口洋子さんの「施設での看取り」の報告があり、最後に、参加者からの質問を元に「認知症の在宅医療」や「かかりつけ医」について討論がありました。

ホワイエでは在宅医療を支えている各機関を紹介するパネル展を行い、来場者と各機関との交流を図りました。



大変重いテーマでしたが、会場はほぼ満席となり、参加者は皆自分自身のこととして真剣に聞き入っていました。

逗子市は高齢化が進み、医療・介護を必要とする方が増えてきています。これを支えるには、市民、医療・福祉関係者、行政が互いに手を携える必要があります。このシンポジウムによって多くの方々とのつながりを創り出すことができたのは、大きな成果だと思えます。



1月11日▶市内

# 逗子市内一周駅伝競走大会

毎年お正月に行われる逗子市内一周駅伝競走大会は、今年62回目を迎え、すがすがしい青空のもと地域対抗16チーム、団体対抗27チーム、合わせて43チームが参加しました。

選手の中には平井市長も地元地域代表として激走しました。

駅伝大会が始まったのは逗子市体育協会が誕生した1954年（昭和29年）4月で、第1回大会は17チームの参加で始まりましたが回を重ねるごとに参加チームも増えてきました。

現在のコースは逗子市内全域27.6キロメートルの区間を6区間に分けてゴールを目指します。過去には逗子駅前がスタート地点でしたが、時代の流れに合わせこれまで13回のコース変更を重ね、現在の第一運動公園スタート、ゴールとなりました。



初期の頃のゴール付近（旧市立体育館前、現市立図書館前）

主催 逗子市教育委員会  
 主管 公益財団法人逗子市体育協会  
 逗子市陸上競技協会  
 後援 朝日新聞社 ASA逗子 ASA東逗子  
 横浜銀行 日刊スポーツ新聞社  
 協力 逗子警察署 逗子市スポーツ推進委員協議会  
 逗子市交通安全協会 逗子市防犯協会

## 結果

地域対抗 優勝 桜山 A  
 団体対抗 優勝 逗子開成 A

準優勝 小坪 A 3位 沼間 A  
 準優勝 逗子開成 B 3位 逗子高校 A



1月12日▶逗子文化プラザホール

# 成人式

2015年（平成27年）1月12日（月・祝）に文化プラザ なぎさホールにおいて、「二十歳を祝う成人の集い」を開催しました。

この「二十歳を祝う成人の集い」は新成人が中心となって、青少年指導員、ボランティアで構成される成人式企画運営実行委員会が企画・運営を行いました。

本年度はまずオープニングとして、逗子開成学園和太鼓部による祝典演奏を行いました。今年度の新成人の中に逗子開成学園和太鼓部の元部長がおり、その縁で今回、出演していただきました。和太鼓部の皆さんの勇壮な演奏により、会場は大いに盛り上がりました。



第1部の式典は、市長の式辞、市議会議員のお祝いの言葉、新成人代表の挨拶が続き、成人らしい厳かな雰囲気の中、式は進行しました。

続いて第二部のアトラクションに移り、市制60周年記念事業の一環として、第一運動公園に10年前に埋めたタイムカプセルを成人式企画運営実行委員会のメンバーが中心となって掘り出した様子を上映しました。また、卒業アルバムのスライドショー、恩師からのビデオメッセージを上映しました。懐かしい写真、恩師からの言葉に会場は大いに盛り上がりました。



その後、お楽しみ大抽選会が行われました。しおかぜカード商品券の通し番号を使用して、抽選を行い、ディズニーランドのペアチケットやペアでスクーバや乗馬など、様々な体験出来るカタログギフトなど成人式企画運営実行委員会が考えた景品を当選者に渡しました。当選された方はとても喜んでいました。

最後にスペシャルライブとして、湘南の歌姫HARUNAさんによるピアノの弾き語りを行っていただきました。HARUNAさんは2014年（平成26年）12月20日（土）に第一運動公園にある体験学習施設スマイルでのクリスマスライブに出演していただいた縁で出演していただきました。3曲を演奏していただきましたが、カバー曲もあり、会場は大いに盛り上がりました。

文化プラザ なぎさホールにて新成人の皆さんの式典を行っている間、さざなみホールでは保護者の皆さんがスクリーンにて成人式の様子を観覧していただき、新成人の晴れ姿に涙ぐむ様子も見られました。

今後も新成人を中心とした成人式企画運営実行委員会による逗子ならではの成人式を執り行っていききたいと思います。



1月24日▶文化プラザ さざなみホール・市民交流センター・逗子小学校

# 国際文化フォーラム in 逗子

## ～世界とつながる、知る・作る・楽しむ、フェアトレード広場～

2015年(平成27年)1月24日(土)、「国際文化フォーラムin逗子 ～世界とつながる、知る・作る・楽しむ、フェアトレード\*広場」を、逗子フェアトレードタウンの会と逗子市が共同で開催しました。

逗子フェアトレードタウンの会が進める「フェアトレードタウン」とは、食品や衣料品など具体的なモノを媒介にしながら、生産者と消費者が国境を超えてつながり、「ものがたり」を共有することから、自分たちの生活のあり方を問い直し、豊かな地域づくりを進めていこうとするまちづくりの運動です。この運動を、「世界とつながる平和都市」を表明する逗子市の新しい「国際文化」として提案し、広く市民に参加してもらい共に創りだしたいと考え、市制60周年記念の市との共催事業として「国際文化フォーラムin逗子」を開催する運びとなりました。

文化プラザさざなみホール、市民交流センター、逗子小学校の家庭科室を会場に、フェアトレードや国際理解に関係するさまざまなイベントが開催され、国際文化フォーラム全体の参加者は、子ども

たちを含め、約300名でした。運営は、逗子フェアトレードタウンの会員を始めとして50名のスタッフと、高校生を中心とした60名を超えるボランティアも携わりました。

参加者は、フェアトレードを題材にチョコレート作りのワークショップを行い、おいしいチョコレートを堪能しつつ、フェアトレードの仕組みを学んだり、世界とつながるまちづくりをテーマに逗子市の未来について語り合う等、学びを深めました。

また、同時に、世界各地から取り寄せたフェアトレード製品のお買い物をしたり、世界のダンスを踊る等、世界を感じながら楽しみました。フェアトレードを「世界とつながるまちづくり」という視点で捉え、市長も市の職員も市民も市外からの参加者も、共に逗子のまちづくりを考えることができる内容でした。

\*フェアトレードとは：発展途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することを通じ、立場の弱い生産者や労働者の生活改善と自立を目指す運動



親子連れや個人の方々がフェアトレードのカカオ豆や黒砂糖を使ってチョコレートを作るワークショップ



フェアトレードについて参加型で考える国際理解ワークショップ



アフリカの布を使ったアクセサリー作りと、オーガニックコットンの土染めワークショップ



フェアトレード・マルシェ

手工芸品や衣類、チョコレートやコーヒーなどのフェアトレード商品が販売されました。会場は、中央に並べられたテーブル席に座って飲食をしながら、ステージ・プログラムを楽しみました。



1月31日▶池子の森自然公園

# 池子の森自然公園開園記念式典 オープニングイベント

2015年(平成27年)1月31日(土)、冬晴れの空の下、池子の森自然公園の開園記念式典そしてオープニングイベントが開催されました。

式典は、逗子高校吹奏楽部による逗子市歌ファンファーレの演奏で幕を開けました。

市長は式辞の中で、米軍との共同使用という形で実現したこの公園の、開園に至るまでの長く険しい道のりを振り返り、逗子のみならず日本にとっても貴重な財産である池子の自然を、将来にわたり、しっかりと守っていくことを約束しました。

また、眞下市議会議長、丸井南関東防衛局長、グレンスタ米海軍横須賀基地司令官を始めとするご来賓の方々からご祝辞をいただき、最後にスペシャルゲストとしてお招きした、世界陸上400mハードル銅メダリストの為末大さんも交え、テープカットを行いました。

式典後に行われたオープニングイベントには、約

1,300人ももの市民が来場し、為末大さんと一緒に公園内を走る3kmランニングや、自然観察ハイキングに参加し、これまで立ち入ることのできなかった池子の森を満喫しました。また、400mトラック内では、逗子高校吹奏楽部と米海軍第7艦隊音楽隊の合同演奏が行われる中、プレイパーク、プレイリヤカー、ちびっこお餅つき体験、タグラグビー、バルーンアートなど、子ども向けのイベントが開催され、公園開園を記念して桜の木が植樹されました。

日米の子どもたちが、寒さにも負けずフィールドを駆けまわる姿は、他に例のない、市と米軍の共同使用による公園開園を象徴し、逗子市民と池子米軍家族住宅居住者の友情の輪が広がっていくことを予感させるものでした。

翌2月1日、池子の森自然公園スポーツエリアの市民利用が始まりました。



テープカットは市長、ご来賓の皆さま、為末大さんにより行われました。



ステージでは、逗子高校吹奏楽部と米海軍第7艦隊音楽隊が、「マーチ『自由の鐘』&世界に一つだけの花」を演奏し、ランニングのスタートを盛り上げました。



式辞を述べる平井市長



グレニスタ米海軍横須賀基地司令官の合図で、為末大さんと一緒に走る3kmランニングがスタート。平井市長、丸井南関東防衛局長も参加し、市民と一緒に池子の森自然公園の開園を祝いました。



自然観察ハイキングには約300人が参加。講師の解説とともに、池子の森の自然を巡りました。



タグラグビー。寒さをものともせず、トライを目指しました。(逗子葉山ラグビースクール)



プレイパーク・プレイリヤカーでは、子どもたちが400mトラックのフィールドを自由に走り回りました。



わくわくバルーンアート。子どもたちの列が最後まで絶えませんでした。(逗子日米協会)



ちびっこお餅つき体験。つき立てのお餅に長い行列ができました。(逗子葉山青年会議所)



400mトラック上部の土手には、池子の森自然公園の開園を記念し、3本の桜の木が植樹されました。(花咲計画推進協議会)

